

民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsins@dylj.or.jp

見どころ

若者憲法集会特集号

第2回中央委員会決議

(6～8面)

6月11日、東京都内で4年ぶりに若者憲法集会が開催されました。集会では約1000人の参加で会場がいっぱいになり、デモ行進には約1500人が参加し、沿道の人たちにアピールしました。憲法に明確に違反する敵基地攻撃能力の保有を筆頭に、大軍拡と改憲の動きを強める岸田文雄政権に対し、『憲法壊すな! 憲法いかせ!』の声を上げた集会の様子を伝えます。

(文中の青年は仮名、塩田悠玄記者)



▶会場が参加者でいっぱいになったメイン企画(写真左)とデモの様子(写真右上・下)



若者憲法集会&デモ

これからも「戦争しない国」に

制約つくった運動の力

午後に行われた若者憲法集会のメイン企画では、一橋大学名誉教授の渡辺治さんが「日本とアジアの平和を創る憲法の力」と題して講演しました。

渡辺さんは、まず「憲法の力には三つの原則がある」と言い、「憲法にいく

わらず、安保条約で米軍基地を日本本土に展開し、多くの侵略戦争の拠点になった」と話しました。しかし、「それでも日本はアメリカの戦争に、他のアジア

の諸国と違って、直接加担して参戦することはできなかった」とも述べ、かううじて戦争だけではないで戦後78年間過酷でこられた

ち上がった60年の安保闘争、自衛隊の憲法違反を問う裁判などのたたかいによって、「政府は自衛隊が合憲だと言ったために、自衛隊の活動に対するさまざまな

この制約を取り除こうとしているのが自民党政権です。2015年には、第二次安倍晋三政権が、自衛隊の活動に対する9条の制約を打破するため、集団的自衛権行使の容認に踏み切り、安保法制を強行採決しました。しかし、市民と野

▶学生企画で話す山添拓参議院議員と講演を聞く参加者



持しなければならぬ」という憲法12条の条文を紹介。「先輩たちがさまざまに切り開いてきた憲法の実現の過程を、私たちが受け継いで、より踏み込んだものにしていくためには、努力が求められていると思う」と参加者にメッセージを送りました。

若者憲法集会当日の午前中、四つの関連企画が行われました。その一つの学生企画「憲法が、希望。」(主催は民青同盟)では、日本共産党の山添拓参議院議員が講演し、参加者からの質問に答えました。山添さんは、権力を縛る憲法の役割や憲法9条の力、憲法審査会そのもののおかしさ、働く権利や同性婚と憲法の関わりなどについて語り、「憲法の条文一つひとつをつぶさに読み込んでいけば、それが本当に実現した社会というのは、どれだけ希望ある未来だろうか」と話しました。

「アメリカと一体の軍隊をつくることは誰の得になるのですか?」「『9条は理想論で、より軍拡を進めるべき。攻めてくる可能性は低くても最低限国民を守るのが国の義務』と言う人に山添さんなら何を話す?」などの会場からの質問に回答。企画の最後に山添さんは、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保

調しました。

学生と語った「憲法が希望」

(2面につづく)